

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

オリンピック教室



第2学年

特色

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えた。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとした。

生徒の感想

オリンピックに参加した先生に教えてもらい、上手くできなかったことが少し上達できるようになったことがうれしかった。今回の授業を通して、スポーツはとても楽しいものだと感じた。自分でもスポーツにさらに関心を持っていきたい。

成果

新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められている。今回のような「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になると考える。